

「いとぐるま 第7号」より

2017年7月発行



里父のつぶやき 《里父〇大和地区》

先日、人生の大先輩である知り合いのご婦人から、写真にあるような色紙をいただいた。子育て奮闘中の私たち夫婦のことを思って、わざわざご自身で書いてくださったもの。最近、Yが自分の思うようにしか行動せず、反抗することもしばしばで、親としては本当に忍耐を迫られることが多くなってきた。Yが小学1年のころに、3泊4日の子ども夏キャンプに参加し、キャンプの最終日にYを迎えにいったところ、キャンプのリーダーの方から「Y君は自由人ですね！」と言われたことを思い出す。最近では厳しくしかることも多くなってきた。以前、里親研修会で叱らずに育てることを学んだが、なかなかそのようには行かない。

自分がこんなに忍耐力のない、怒りっぽい人間だったのかと思い知らされ、自分の弱さに直面させられている。里子を迎えるずっと以前から「父たちよ。子どもを怒らせてはいけません。」と教えられていたにもかかわらず、こんな惨めな思いになってしまうとは。まさに、子育てをとおして自分の心の弱さを見せられている。この色紙をプレゼントしてくださったご婦人にも「子育ては戦いですからね」と言われた。親をわざわざ怒らせるように行動する子どもの罠にまんまとはまってしまっている自分は、戦う前に負けてしまっているようなもの。

しかし、こうして私たち夫婦のことを気に掛けてくださる方々に囲まれていることは何と心強いことか。

